

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,554	t-CO ₂
（温室① 二酸化炭素を 酸効除 化果く 炭ガ 素ス 換排 算） 排出量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,554	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績	目標	計画期間の実績		
	令和 3 年度	令和 6 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
温室効果ガス 総排出量	1,774 t-CO ₂	1,738 t-CO ₂	1,706 t-CO ₂	1,602 t-CO ₂	1,554 t-CO ₂
削減率（対基準年度）		2.0 %	3.8 %	9.7 %	12.4 %
温室効果ガス みなし総排出量			t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対基準年度）			%	%	%

項目	基準年度の実績	目標	計画期間の実績		
	令和 3 年度	令和 6 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
原単位あたりの 排出量					
削減率（対基準年度）		%	%	%	%
原単位あたりの みなし排出量					
削減率（対基準年度）			%	%	%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

<p>（基準年度排出量を3年間で2%削減目標。）</p> <p>①令和6年度においては12.4%の削減が図れた。大幅な削減理由は新型コロナが第5類に移行したため、店内環境維持がCO2管理～温度管理に変更でき大幅な電力削減ができた。</p> <p>②次年度においても温室効果ガスの削減に向けて施策の密な取り組みをする。</p> <p>③省エネ対策の施工 LED照明工事（階段区画）・省エネ冷凍機の代替え等施工（5台）</p>

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源 冷暖房	①冷房温度を28℃ 暖房温度20℃を徹底する	①毎日の運転記録を確認し管理徹底を図る	①毎日の運転記録を確認し管理徹底を図る
省エネルギー・省資源 照明	①使用していない部屋や昼休み・時間外の消灯徹底 ②照明点灯時間の見直し	①使用していない部屋や昼休み・時間外の消灯の徹底	①使用していない部屋や昼休み・時間外の消灯の徹底 ②照明点灯時間の見直し
省エネルギー・省資源 OA機器	①パソコン・コピー機の離席時・退社時スイッチOFF	①パソコン・コピー機の離席時・退社時のスイッチOFF	①パソコン・コピー機の離席時・退社時のスイッチOFF
廃棄物の排出抑制	①両面コピー再利用の徹底 ②オフィス古紙を分別しリサイクルする ③ペーパーレスの推進	①両面コピー・再利用の徹底 ②オフィス古紙を分別リサイクル	①両面コピー・再利用の徹底 ②オフィス古紙を分別リサイクルする ③ペーパーレスの推進
エネルギーマネジメントシステムの導入	導入済みの電力管理システムを運用し週間管理・月間管理をする	運用管理の徹底・データ分析により効率運転をする	運用管理の徹底・データ分析により効率運転をする
省エネ装置導入	導入済みの空調機インバーターの効率運転の再見直し	店内環境を維持し、最適な効率運転を図る	省エネ機器の効率運転の実施
省エネ装置導入	過去に導入の省エネ装置の運用管理 ①空調機インバーター	省エネ機器の効率運転の実施	省エネ機器の効率運転の実施・店内空調機のCO2管理から温度管理に変更
省エネ装置導入	改装時LED器具の積極的な取替え	今年度導入検討	客用階段・客用トイレ等LED器具に交換済み
省エネ冷凍機代替え 食品ケース温度管理 空調機運転管理	インバーター冷凍機に随時交換 温度設定の見直し(季節管理徹底) 店内CO2測定	経年冷凍機の計画的代替え 冷凍食品・25℃～-20℃に変更 店内二酸化炭素濃度管理の徹底	経年冷凍機の5台交換済み 冷凍食品・25℃～-20℃に変更

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（令和 6 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--